

令和3年度 キャリアアップ研修会 報告

保護者支援・子育て支援研修 会員 50 名 非会員 1 名 合計 51 名 全員修了

マネジメント研修 会員 30 名（内 2 名最終日 6 H 未受講）28 名修了
（駐車場内事故により 20 分遅刻者有・渋滞による 5 分遅刻有）
講師：島根大学大学院 教授 原 広治 氏

《感染症対策》

マイク・机上消毒・会場内ステリプロ噴射・換気徹底（途中休憩時）
三日間の健康チェック表記入（1 か月保存後破棄）

【保護者支援・子育て支援】

保護者支援・子育て支援に関する理解するために、様々な演習で発表や討議を繰り返し行いました。誠意ある傾聴姿勢が相手に与える印象に影響するなど実践を通して感じ取ることができました。信頼関係の構築が、子育て中の保護者が抱える悩みやデリケートな相談に適切な助言や支援に最も重要なことはあることが認識されました。

【マネジメント】

マネジメントの重要性を、様々な演習を通して組織として大事な役割であることを認識し、責務を全うするために必要な能力を習得しました。多職種との日々の連携がいかに必要か、課題を解決する手立てを丁寧に書き出し、考えを整理することなどの的確な判断につなげるために筆記が重要であることを認識しました。グループ討議では他者の意見を傾聴し自園の気づきにつながり専門機関との連携状況を再確認するなど、円滑な運営と保育の質を高めるために必要な様々な役割、リーダーシップの能力について丁寧に講義いただきました。

《振り返り》

受講前・受講後に受講シートを回収し、全受講者の目的・感想を講師の原先生に目を通して頂いた。受講者の感想から演習を駆使し、時間配分を配慮され研修を進められた。

個々の表現力を高めるため、一人ひとりが自分の考えを文章にする実践を繰り返す中で、重要なポイントをまとめ、グループ討議も盛り上がり円滑な協議が成された。

また、全員が順次発表し他の意見を聴きながら重複しないように発表することで幅広い引き出しを必要とされることや、二人組でのやり取りをする事で、聞き役・話し方、両者の思いを体験して気付く事が出来た。四人組でのやり取りでは、共有共感しながら意見をまとめていく色々なワークで、受講者は終始熱心に取り組む研修であった。

コロナ禍により顔を合わせての研修の機会が激減している状況下、web 研修が主流になりつつある現状では、対面式の演習はコミュニケーション能力を高める有意義な研修であった。

また、保育現場で意見交換の余裕がない中、他園の保育の実態を傾聴することで保育観の幅が広がり、保育実践に活かせることが感想として受講シートから確認ができた。

